

令和 8 年度 第 3 回 地域連携推進会議 議事録

■ 開催概要

- ・ 日 時: 令和 8 年 7 月 25 日(土) 10:00～
- ・ 場 所: 大塩公民館 汐の里
- ・ 参加者: 地域関係者、福祉関係者、行政担当者、ご家族、利用者ご本人、法人職員 計 16 名(構成員 9 名、法人職員 5 名)

■ 対象施設

- ・ 指定障害者支援施設「姫路暁乃里」
- ・ 共同生活援助「チャレンジ」

■ 会議の流れ

1. 開会挨拶・趣旨説明

統括施設長より開会の挨拶があり、司会者より本日の流れと会議の目的について説明が行われました。

2. 構成員紹介

地域住民、福祉関係者、行政担当者、ご家族、利用者ご本人より、それぞれの立場から挨拶がありました。

● 地域住民の声

- ・ 前回の会議をきっかけに障害福祉を学ぶ機会が増えた
- ・ 五倫会が地域で専門性を持って取り組んでいるとよく耳にする

● 福祉関係者の声

- ・ 同じ障害福祉施設として、地域とのかかわり方を参考にしたい

● ご家族の声

- ・ 職員が勉強されており、安心して預けられている

- ・ 地域に見守られながら生活できていることに感謝している

3. 事業所見学

「ふぁむ的形」「エルドラド」「姫路暁乃里」の順に見学し、利用者の生活や職員の支援の様子を見学し、日常の支援体制について理解を深めました。

4. 法人・事業所報告

法人、チャレンジ、姫路暁乃里より、資料に基づき以下の報告が行われました。

- ・ 法人の現状と今後の方向性
- ・ 地域生活支援拠点としての役割
- ・ 障害福祉サービスの概要と支援内容
- ・ 緊急短期入所の受入れ状況
- ・ 地域相談窓口の取り組み

5. 質疑・意見交換

会議後半では、地域住民・行政・福祉関係者・利用者ご家族から、多様な意見が交わされました。

● 救急車出動に関する地域の状況

大鳥地区の高齢化や民生・こども委員としての対応状況が共有され、地域の実情を踏まえた連携の必要性が話し合われました。

● 工事車両の走行について

「苦情はないが、一旦停止を徹底してほしい」との意見があり、統括施設長より「職員に継続して周知していく」と回答しました。

● サービス管理責任者未配置減算について

地域住民より、更新忘れを防ぐためのチェック体制の強化を求める意見がありました。統括施設長より「現在は、資格に関するシステムを構築し、法人全体で資格・免許・保険等の確認を行っている」と説明がありました。

● 地域貢献活動(仮屋地区の花壇整備)

花壇の管理を五倫会が依頼された経緯が説明され、地域との協働の具体例として共有されました。

● 他施設からの意見

障害者支援施設の立場から、非常ベル作動時の消防車出動など共通課題が共有され、地域ニーズに応じた取り組みの重要性が語られました。

● 地域住民・ご家族からの声

- ・ 福祉を学んでいきたい
- ・ 安心して生活できている
- ・ 今後も迷惑をかけることもあるがよろしく願いたい
- ・ 協力できることがあれば協力したい

温かい言葉が多く寄せられました。

6. 閉会挨拶

部長より「地域とともに歩む法人として、今後も連携を深めていきたい」との挨拶があり、閉会しました。

まとめ

本会議では、地域・行政・福祉関係者・ご家族・法人職員が一堂に会し、地域連携の現状や課題、今後の可能性について多角的な意見交換が行われました。今後も地域とのつながりを深め、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。